

取材のご案内

◆ 地方創生 × 次世代育成。

北海道から鹿児島県までの連携する25の自治体・団体が一堂に集結。

日本と地方の未来、地方活性化に必要な大学教育の在り方を本気で話し合っています。

参加自治体・団体 北海道東川町、秋田県上小阿仁村、宮城県石巻市、長野県中野市、
徳島県阿南市、高知県梶原町、福岡県大川市、鹿児島県徳之島町、他

◆ 六次産業化(人気グラノーラを開発)

地方自治体の課題として多く聞くのが、「雇用」「定住/移住」「六次産業化」。

武蔵野大学は、その課題を共有し、解決に向け果敢に挑戦しています。

(グラノーラ) 学生がお世話になっている町(村)の皆さんと共に育てた大事な食材を、今、話題、人気のグラノーラを“食育”を理念に開発。全国に、世界に売っていく協働を展開します。

多くの名門業界のチョコレートを手掛ける伝説のトップショコラティエ野口 和夫氏が、理念に共感いただき初めて大学とのコラボが実現した作品。当日は皆さんに試作品を試食していただく予定です。

2月26日(金) 武蔵野大学がFDシンポジウムを開催します。

(文部科学省大学教育再生加速プログラム (AP) 採択事業)

日本の未来を創出するため、地方を豊かにするため、
その未来を創る、地方を再生するノウハウを有した優秀な学生を育成するため、
産官民と学が一体となった教育の推進が必要である、と私たちは考えています。
地方自治体と企業と大学が連携し、その繋がりを強め、
そして広げていくと、より良いプログラム、教育方法を見出していくことができます。
地方自治体と企業と武蔵野大学が、真っ向から取組みはじめた地方創生教育プログラム。
共に成長するには、どうあるべきなのか。協働する上で課題は何か。
当日は、本学の教育プログラムの事例を発表し、ご出席の皆様と共に、
よりよい地方創生及び大学教育のあり方を創りだしていきたいと考えております。

シンポジウム概要は次の通りです。ご多忙とは存じますが、是非ご取材賜りますようお願い申し上げます。

◆日時/場所

平成28年2月26日(金) 13:00-17:15 武蔵野大学有明キャンパス(東京都江東区有明3-3-3)

◆プログラム

事例発表 「大川市の地方創生 - 契機となった産官学連携 -」 福岡県大川市長 鳩山 二郎氏

◆パネルディスカッション 「地方創生における大学の役割と責任を考える」

文藝春秋監査役 勝尾 聡、北海道東川町長 松岡 市郎氏、

高知県梶原町長 矢野 富夫氏、鹿児島県徳之島町長 高岡 秀規氏

ご取材に関するお問い合わせはこちらまで・・・ご連絡お待ちしております。

武蔵野大学 大学事務部 就職・キャリア開発課 (担当: 中塩・西野)

TEL: 03-5530-7350 FAX: 03-5530-3812

e-mail: career@musashino-u.ac.jp